



# 神宮前だより

## 三年後の子供を思い描いて

校長 手代木 英明

先週に校庭の桜は満開となりました。新二年生が育てているチューリップも、かわいい花が咲きました。春の息吹の中令和四年度がスタートしました。

新一年生七十名を迎え、全校児童三百八十名となりました。新一年生の保護者の皆様、お子様の小学校入学おめでとうございます。二月の新一年保護者会では、三学級の予定でしたが、転勤・引越したの方がおり、二学級となりました。

子供たちは、新しい学年で「新たな目標」をもっていきなさいと思います。子供たちの限らない思いや願いに応えられるよう、教職員一同、全力で頑張ります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



## 卒業式後の5・6年生と桜

写真は、卒業式が終わった後の校庭で五年生の呼びかけの後に、卒業生に花束を贈呈しているところです。コロナ対策で、式中に「呼びかけと合唱」ができませんでしたが、春の日差しを浴びながら行った「呼びかけとセレモニー」も和やかに思い出に残るものとなりました。

神宮前小リーダーとなる新六年生は、コロナ禍の制限の中で、新しい行事をつくってきた令和二・三年度の卒業生たちの活躍を中学年の頃から見てきました。「次は、自分たちがやる。」という強い思いが醸成されています。三年目を迎えるスポーツデイや学芸会、宿泊行事などで、最高学年として大活躍することでしょう。応援をよろしくお願ひします。

このように、子供は、今日・明日にできるようなこともあれば、二・三年かかるものもあります。そこで、神宮前小学校は、系統性や教科横断的な学びを意識した授業づくりを行い、子供たちの思考力・表現力・情報活用能力・コミュニケーション能力を学年の発達段階に応じて、じっくりと育てていきます。

ご家庭での子育ても同じです。目先のことばかり考えずに、新一年生ならば、

「四年生になったら宿泊行事があるから、今のうちに自分のことが自分でできるようにしておこう。」新四年生なら「中学生になったら、教科担任制になるから、自分で学習がすすめられるようにしよう。」など、三年・五年後の子供の姿を思い描いて声掛けをして、ステップアップを積み重ねていく子育てをしていきましょう。

令和 4年 4月 4日  
校長 手代木 英明

## 令和4年度 渋谷区立神宮前小学校 学校経営方針

### 1 はじめに

神宮前小学校は、「児童が輝き」「保護者・地域に信頼される学校」目指して教職員一同全力で取り組みます。本校の全ての教育活動は、子供の成長のためにあります。そして教育目標の具現化のために実施していきます。従って、「子供のためになるのか（子供ファースト）」を判断の根本にします。

### 2 「神小の子」育成計画

#### (1) 「つながる学び」の推進（知のつながり・人のつながり・ICT活用）

神宮前小学校は、新型コロナウイルス感染症対策の中で新しいスタイルの学校づくりを進めてきました。分散登校や自宅待機でオンライン家庭学習に参加した子の学びは、教室とつながりました。教室の様子を配信したり、クラウド上で情報や作品のやり取りをしたりすることができました。普段の授業でも学習者用デジタル教科書を使い、ミラシードや Teams で学びをつなげたり、OneNote や PowerPoint など共同編集をしたりしてきました。

令和5年1月25日（水）には、令和3・4年度 渋谷区教育委員会研究指定校として「自ら学びに向かう児童の育成 ～つながる学びを目指した ちようどよい ICT の活用～」をテーマに実践研究の発表をします。系統性や教科横断的な学びを意識した授業づくりを行い、子供たちがタブレットを道具として使い、小学校での「ちようどよい ICT の活用」の在り方を提案する準備を進めています。

#### (2) 国際社会を生き抜く神小の子を目指して「シブヤ科の実施」

渋谷区では地域と学校のことを学び、グローバル社会を生き抜く力をはぐくむ「シブヤ科」の授業をしています。本校は、明治神宮の表参道にある学校として、地域の自然と歴史や表参道の変遷を調べる活動を通して、情報活用能力やコミュニケーション能力と表現力をはぐくみ、「コミュニティ・スクール」として地域の方々や、明治神宮や地元商店街・企業などと連携した教育活動を進めていきます。

## 四月の生活指導

### 決める力を、仲良し生活しよう

令和四年度が始まりました。

コロナウィルスの感染状況は依然として予断を許さない状況が続いています。今年度も「手洗いうがい」の徹底等、基本的な感染対策を行いながら、子供たちが少しでも充実した学校生活を送ることができるよう尽力していきます。

さて、学校には、たくさんの子供たちが、楽しく・気持ちよく・安全に生活するために、いろいろなルールがあります。本校では「水車の子」（遊び・学習・生活・タブレットの約束）という決まりを、四月初めに各学級で確認します。

決まりは、すべての人が尊重されるために定められているものですので、一人一人がその意義を理解して「守る」ということが重要です。時には自分の思い通りにならないことがあるかもしれませんが、そんな時に、ちよっと立ち止まって、自分のことだけでなく、周りのことや友達のことを考えて行動ができる、そんな子供たちを育てていきたいと思ひます。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

（生活指導部）

\* 学校経営方針全文は、学校ホームページの「学校概要」→「校長より」をご覧ください。